

ロボット性能評価手法に係る特別講座

事業概要

継続：3年目

ロボット分野

事業略称	ロボ講座	期間	2018～2020	予算元	NEDO	事業形態	委託
概要	「NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合展開」の枠組みにおいて、ロボット性能評価手法の普及を図るために、(1) 当該性能評価手順書を用いた人材育成講座等の企画・開催、(2) 実証試験結果等に基づく当該性能評価手順書の改訂案の作成、(3) 当該性能評価手法について国内外の活動を行う。						
ゴール	福島ロボットテストフィールド(RTF)が継続的に利用されるためにロボット性能評価手法やRTF利用方法について理解し、将来この分野に関する事業推進のキーマンを育成する。						

2020年度 計画(左)／活動結果(右)

【予算：20.4百万円／決算：20.5百万円】

下記の3講座の実習開催

※講座は、座学と実習から構成

①無人航空機を活用した橋梁点検分野
(橋梁分野)

②ロボットを活用したダム及び河川点検分野
(水中分野)

③ロボットを活用したトンネル及びプラント
災害調査分野
(陸上分野：トンネル実習)

➤実習を計画するもコロナ禍にて中止。代替策として、性能評価手順書に基づく模範試験(演習)の動画作成を行い、動画の配信によるリモート講義を実施

①橋梁演習12/7～9実施、1/8動画配信

②水中演習11/24～25実施、1/10動画配信

③トンネル演習11/3～5実施、1/12動画配信

➤事業成果報告シンポジウムを開催し、3年間の活動の成果をアピール(2/16)

➤受講応募者205名のうち、40名に修了証書を発行

最終年度として、活動成果の発表等を行うシンポジウムを南相馬市と東京にて開催

主任講師による手順書の改定(案)に基づいて、手順書Ver.2の作成・発行を検討中

ロボット性能評価手法に係る特別講座

2018～2020年度成果

■ 座学実績

- [応募受講者総数] 205名（橋梁分野126名、水中分野50名、陸上分野39名）
（参加者：土木コンサルタント、メーカー、大学、地方公共団体など）
- [座学開催実績] 座学1～7を4地区（東京、名古屋、大阪、福島（南相馬市））にて、延べ48回開催、延べ546名出席、陸上は座学6をリモート開催
※コロナ禍のため6回、受講者2名以下のため6回、計12回中止
- [座学動画配信] 座学1～5までの講義動画を編集して座学欠席者に配信（YouTubeに限定公開）を行い、30件のレポートの追加提出

■ 実習・演習実績

- [プラント実習] 2019年11月25～28日、RTF試験用プラントにて開催、13名参加
- [橋梁演習] 2020年12月7～9日、試験用橋梁にて実施
- [水中演習] 2020年11月25日、屋内水槽試験棟大水槽にて実施
- [トンネル演習] 2020年11月3～5日試験用トンネルにて実施

■ 講座修了者

- [橋梁分野] 21名、[水中分野] 13名、[陸上分野] 6名、合計40名

■ シンポジウム開催実績

- 2019年1月17日キックオフシンポジウム、南相馬市市民情報交流センター、90名出席
- 2019年度第1回シンポジウム、南相馬市市民情報交流センター、第1部RTF施設見学会45名、第2部講演会60名出席
- 2019年度第2回シンポジウム、東京機械振興会館、88名出席
- 2020年度事業報告シンポジウム、リモート開催、50名出席